

[省令第8条の4の5 (1,000トン以上排出事業者用)]

様式第2号の8 (第8条の4の5関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2023年6月22日

(宛先) 長野市長 荻原 健司 様

提出者

住所 長野市若里1606

氏名 株式会社 みすずコーポレーション

代表取締役 塚田 裕一

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

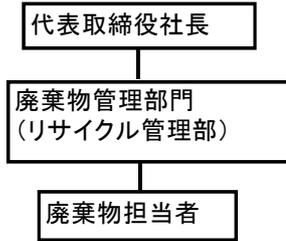
電話番号 026-226-1671

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 みすずコーポレーション
事業場の所在地	長野市若里1606
計画期間	2023年4月1日～2024年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	食品製造業
② 事業の規模	売上高 17,864百万円
③ 従業員数	884人
④ 産業廃棄物の一連の処理工程	<ul style="list-style-type: none">・脱水汚泥・おから・残渣→産廃委託→再生利用(堆肥化)・廃プラ(RPF原料)→産廃委託→再生利用(RPF)・廃プラ、その他→産廃委託→埋め立て・廃油→自社再生利用(燃料)・木くず→産廃委託→再生利用又は焼却

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (令和 4 年度) 実績】						
	産業廃棄物の種類	排水処理汚泥	生おから	植物残渣	RPF原料	その他廃プラ	廃脱硫剤
	排出量	48,521.02t	7.70t	1,078.00t	236.24t	12.36t	56.10t
②計画	産業廃棄物の種類	排水分離油	浮上スカム	フライヤー廃油	木くず	その他汚泥	機械油
	排出量			337.40t	5.32t	12.20t	
(これまでに実施した取組) ・汚泥乾燥機の運用により、排水処理汚泥を乾燥、有価販売を実施 ・機械油は有価物として販売実施 ・植物性残渣はメタン発酵原料として有価物で供給実施							
①現状	【目標】						
	産業廃棄物の種類	排水処理汚泥	生おから	植物残渣	RPF原料	その他廃プラ	廃脱硫剤
	排出量	58,000.00t	7.30t	1,024.10t	233.88t	12.00t	56.00t
②計画	産業廃棄物の種類	排水分離油	浮上スカム	フライヤー廃油	木くず	その他汚泥	機械油
	排出量			335.00t	5.00t	12.20t	
(今後実施する予定の取組) ・植物性残渣のメタン発酵原料 (有価物化) としての供給を更に推進する。 ・植物性廃油は更に有価物化を推進する。							

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・廃プラスチックをRPF原料とその他廃プラの2種に分別 ・植物性残渣を、堆肥化、飼料化、焼却、メタン発酵の4種に分類
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・植物性残渣のメタン化・減量化のための試験を検討・実施する。 ・植物性残渣の飼料化のための分別及び試験を検討・実施する。 ・植物性残渣のメタン発酵原料 (有価物化) としての供給のための分別を更に推進する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和4年度）実績】							
産業廃棄物の種類	排水処理汚泥	生おから	植物残渣	RPF原料	その他廃プラ	廃脱硫剤	
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量							
産業廃棄物の種類	排水分離油	浮上スカム	フライヤー廃油	木くず	その他汚泥	機械油	
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量			337.40t				
(これまでに実施した取組) ・排水分離油、フライヤー廃油の有価販売化促進							
【目標】							
産業廃棄物の種類	排水処理汚泥	生おから	植物残渣	RPF原料	その他廃プラ	廃脱硫剤	
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量							
産業廃棄物の種類	排水分離油	浮上スカム	フライヤー廃油	木くず	その他汚泥	機械油	
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量			335.00t				
(今後実施する予定の取組) ・排水分離油、フライヤー廃油は有価販売化を更に促進する。							

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和4年度）実績】							
産業廃棄物の種類	排水処理汚泥	生おから	植物残渣	RPF原料	その他廃プラ	廃脱硫剤	
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量							
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量							
産業廃棄物の種類	排水分離油	浮上スカム	フライヤー廃油	木くず	その他汚泥	機械油	
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量							
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量							
(これまでに実施した取組) ・汚泥乾燥機の運用により、排水処理汚泥を脱水、乾燥を実施							
【目標】							
産業廃棄物の種類	排水処理汚泥	生おから	植物残渣	RPF原料	その他廃プラ	廃脱硫剤	
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量							
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	58,000.00t						
産業廃棄物の種類	排水分離油	浮上スカム	フライヤー廃油	木くず	その他汚泥	機械油	
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量							
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量							
(今後実施する予定の取組) ・さらに汚泥乾燥機の運用により、排水処理汚泥を脱水、乾燥を実施する。							

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項								
①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	排水処理汚泥	生おから	植物残渣	RPF原料	その他廃プラ	廃脱硫剤	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量							
	産業廃棄物の種類	排水分離油	浮上スカム	フライヤー廃油	木くず	その他汚泥	機械油	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量							
(これまでに実施した取組)								
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	排水処理汚泥	生おから	植物残渣	RPF原料	その他廃プラ	廃脱硫剤	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量							
	産業廃棄物の種類	排水分離油	浮上スカム	フライヤー廃油	木くず	その他汚泥	機械油	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量							
(今後実施する予定の取組)								
産業廃棄物の処理の委託に関する事項								
①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	排水処理汚泥	生おから	植物残渣	RPF原料	その他廃プラ	廃脱硫剤	
	全処理委託量	48,521.02t	7.70t	1,078.00t	236.24t	12.36t	56.10t	
	優良認定処理業者への処理委託量					12.36t		
	再生利用業者への処理委託量	48,521.02t	7.70t	1,078.00t	236.24t		56.10t	
	認定熱回収業者への処理委託量							
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量							
	産業廃棄物の種類	排水分離油	浮上スカム	フライヤー廃油	木くず	その他汚泥	機械油	
	全処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t	5.32t	12.20t	0.00t	
	優良認定処理業者への処理委託量				5.32t			
	再生利用業者への処理委託量					12.20t		
	認定熱回収業者への処理委託量							
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量							
	(これまでに実施した取組)							

【目標】						
産業廃棄物の種類	排水処理汚泥	生おから	植物残渣	RPF原料	その他廃プラ	廃脱硫剤
全処理委託量	0.00t	7.30t	1,024.10t	233.88t	12.00t	56.00t
優良認定処理業者への処理委託量					12.00t	
再生利用業者への処理委託量		7.30t	1,024.10t	233.88t		56.00t
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						
産業廃棄物の種類	排水分離油	浮上スカム	フライヤー廃油	木くず	その他汚泥	機械油
全処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t	5.00t	12.20t	0.00t
優良認定処理業者への処理委託量				5.00t		
再生利用業者への処理委託量					12.20t	
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						
(今後実施する予定の取組)						

②計画

※事務処理欄

(第6面)

備 考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が12以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。
また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書（産業廃棄物の実績及び計画の量）

処 理 事 項		産 業 廃 棄 物 の 種 類（実績値・計画値）												合 計	
		排水処理汚泥	生おから	植物残渣	RPF原料	その他廃プラ	廃脱硫剤	排水分離油	浮上スラム	フライヤー廃油	木くず	その他汚泥	機械油		
排出抑制に関する事項	前年度排出量(実績)	48,521.02t	7.70t	1,078.00t	236.24t	12.36t	56.10t	0.00t	0.00t	337.40t	5.32t	12.20t	0.00t	50,266.34t	
	本年度排出量(計画)	58,000.00t	7.30t	1,024.10t	233.88t	12.00t	56.00t	0.00t	0.00t	335.00t	5.00t	12.20t	0.00t	59,685.48t	
自ら行う(行った)再生利用に関する事項	前年度実績	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	337.40t	0.00t	0.00t	0.00t	337.40t	
	本年度計画(目標)	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	335.00t	0.00t	0.00t	0.00t	335.00t	
自ら行う(行った)中間処理に関する事項	自ら行う(行った)熱回収の量	前年度実績	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	
		本年度計画(目標)	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	
	自ら中間処理により減量する(した)量	前年度実績	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	
		本年度計画(目標)	58,000.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	58,000.00t
自ら行う(行った)埋立処分又は海洋投入処分に関する事項	前年度実績	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	
	本年度計画(目標)	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	
処理の委託に関する事項	全処理委託量	前年度実績	48,521.02t	7.70t	1,078.00t	236.24t	12.36t	56.10t	0.00t	0.00t	0.00t	5.32t	12.20t	0.00t	49,928.94t
		本年度計画(目標)	0.00t	7.30t	1,024.10t	233.88t	12.00t	56.00t	0.00t	0.00t	0.00t	5.00t	12.20t	0.00t	1,350.48t
	優良認定処理業者への処理委託量	前年度実績	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	12.36t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	5.32t	0.00t	0.00t	17.68t
		本年度計画(目標)	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	12.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	5.00t	0.00t	0.00t	17.00t
	再生利用業者への処理委託量	前年度実績	48,521.02t	7.70t	1,078.00t	236.24t	0.00t	56.10t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	12.20t	0.00t	49,911.26t
		本年度計画(目標)	0.00t	7.30t	1,024.10t	233.88t	0.00t	56.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	12.20t	0.00t	1,333.48t
	認定熱回収業者への処理委託量	前年度実績	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
		本年度計画(目標)	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	前年度実績	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
		本年度計画(目標)	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t

【記載方法】

- 各産業廃棄物の種類ごとに該当の箇所の上段に前年度の実績（現状）を、下段に本年度の目標（計画）の産業廃棄物の量を記載してください。
- 「自ら行う再生利用に関する事項」の欄は、自ら直接再生利用した量と中間処理した後再生利用した量を記載してください。
- 「自ら行う埋立処分又は海洋投入処分に関する事項」は、自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量と自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量を記載してください。
- 「処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量及びそれぞれの内訳を記載してください。